

立命館大学アート・リサーチセンター

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
2017年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2018年4月20日 提出

1. 研究課題名	
近代から戦後京都における「都市整備」の「京町家の暮らし」への影響に関する研究 (英文標記: Study on effects of urban improvement on livelihood in Kyo-machiya in the modern and postwar Kyoto)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
高橋 彰	関西学院大学総合政策学部 契約助手
3. 研究分担者 (合計:6名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
矢野桂司(やのけいじ)	立命館大学 教授
河角直美(かわすみなおみ)	立命館大学 准教授
高木良枝(たかぎよしえ)	立命館大学 客員研究員
井上学(いのうえまなぶ)	平安女学院大学国際観光学部国際観光学科 准教授
大菅直(おおすがただし)	株式会社 光影堂 代表取締役
佐藤弘隆(さとうひろたか)	立命館大学 博士課程後期課程

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>本研究は近代から戦後京都における「京町家の暮らし」と「都市整備」に関する資料を収集し、戦後京都の記憶と合わせてアーカイブするものである。京町家の保全策は多岐にわたり実施されているが、文化財的、景観的な側面での取り組みが多く、京町家の中で育まれてきた伝統的な「京町家の暮らし」の保全・継承については、個々の家に委ねられていることで具体的な支援策が十分に検討されずにいる。また、その「暮らし」は近代以降の「都市整備」による電気、ガス、上下水道など整備の影響を大きく受けていると考えられるが、「京町家の暮らし」と「都市整備」の相互の関係はあまり論じられていない。</p> <p>そこで、本研究では、近代からの「都市整備」による都市生活の変化が「京町家の暮らし」にどのように影響を与えたかを検討するため、「暮らし」と「都市整備」に関する資料収集と整理を進めつつ、関係する住民(高齢者)への聞き取りを通して記憶を収集、蓄積する場を構築する。蓄積された資料と記憶を GIS(地理情報、古地図)上でデジタルに共有化することで、地域の歴史を学習する場となり、京都のまちづくりやコミュニティの形成の一助となると考えられる。</p>

5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

本研究は近代から戦後京都における「京町家の暮らし」と「都市整備」に関する資料を収集し、戦後京都の記憶と合わせてアーカイブするものである。「京町家の暮らし」においては、下京区に立地する大型町家でもともと雑穀商を営んでいた「N家」をケーススタディとし、所有者へのヒアリングを実施し、所蔵された100点もの古文書(近代を含む)の整理を進めるとともに、随時、積文を実施した。

「都市整備」に関する資料については、京都の都市整備の中で、社会的、景観的な影響が大きかったと考えられる京都市電の敷設に関連し、申請者らと立命館大学アート・リサーチセンターが構築し、既に公開されている「京都の鉄道・バス 写真データベース」の充実を図った。また、最も手間と時間のかかる古写真の位置同定に関しては、クラウドソーシングの活用を検討するとともに、京都市交通局の協力を得て展示会を実施した。さらに、本アーカイブを活用した「メモリーハンティングアプリ」の京都版「KYOTO メモリーグラフ (プロトタイプ)」を国立情報学研究所北本朝展准教授の協力のもと開発し、その試行実験を実施した。

6. 研究業績

(斜字は、2017年度の成果)

- ・ 高橋彰,河角直美,矢野桂司,山路正憲,山本俊平,佐藤弘隆,今村聡:「クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー」, 地理情報システム学会講演論文集, Vol.27, pp.4, (CD-ROM)(2017)
- ・ 高橋彰, 矢野桂司, 高木良枝, 佐藤弘隆”第IV期京町家調査を用いた空き家化の要因に関する研究”日本建築学会大会学術梗概集, No. 7148,pp401-402, (広島)2017.8
- ・ 山本峻平,佐藤弘隆,高橋彰,河角直美,井上学,矢野桂司「デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用ー「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築ー」,人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 Vol.2017No2,2017,199-206 頁
- ・ 山本峻平,佐藤弘隆,高橋彰,河角直美,井上学,矢野桂司「デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用ー「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築ー」,じんもんこん 2017 人文科学とコンピュータシンポジウム(大阪市立大学)2017.12.10 ポスター発表
- ・ 山本峻平,高橋彰,佐藤弘隆,河角直美,矢野桂司,井上学,北本朝展「古写真データベースのまちあるきへの活用」日本地理学会 2018 年春季学術大会(東京学芸大学)口頭発表
- ・ 高橋彰,北本朝展,鈴木親彦,矢野桂司,河角直美,山路正憲,佐藤弘隆,山本峻平「メモリーハンティングを活用した戦後から現在の京都の景観変化に関する研究ー京都市電のデジタル・アーカイブ写真を事例としてー」 「2017 年度情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設公募型共同研究「ROIS-DS-JOINT」採択
- ・ 高橋彰,牧野杏里「京町家の保全・再生を目的とした市民向けセミナーの現状公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターの活動を通して」,建築教育研究論文報告集-第 17 回建築教育シンポジウム-,NO17,pp19-24,2017.11
- ・ 佐藤弘隆「近代京都の祇園祭における橋弁慶山の運営基盤:地域住民主導の町文書デジタルアーカイブを活用して(特集祇園祭(1))」,藝能史研究=Historyoftheperformingarts(217),57-74,2017-04
- ・ 佐藤弘隆,矢野桂司「船鉾財団法人設立五十周年記念誌」公益財団法人祇園祭船鉾保存会,平成 30 年 1 月 21 日発行
- ・ 高木良枝,高橋彰,佐藤弘隆「大規模京町屋の現状と民間継承後の運営に関する研究:京都市指定有形文化財長江家住宅を事例に」公益社団法人都市住宅学会大会(福岡):第 25 回学術講演会研究発表梗概集,都市住宅学=Urbanhousingsciences(99),pp123-127,2017
- ・ 矢野桂司,佐藤弘隆,河角直美「市民参加型 GIS による祭礼景観の復原ー昭和 30 年以前の京都祇園祭の山鉾行事における松原通ー」(若林芳樹編『参加型 GIS の理論・技術・応用』,古今書院 2017 年 3 月,出版予定)
- ・ 矢野桂司「京町家の空き家化」(由井義通,久保倫子,西山弘泰編『都市の空き家問題 なぜ?どうする?』古今書院 2016. 3, pp34-41)
- ・ 赤石直美,福島幸宏,矢野桂司「WebGIS を用いた戦後京都の記憶のアーカイブとその課題」(『地理情報システム学会講演論文集』地理情報システム学会,第 25 巻,2015 年 10 月,4p. (CD-ROM)
- ・ 矢野桂司,中川等,高木良枝,佐藤弘隆,高橋彰,他「大規模京町家のアーカイブー京都市指定文化財長江家住宅を事例にー」住総研研究論文集 No42,2015 年度版,研究 No. 1411
- ・ 佐藤弘隆,高木良枝「京町家における暮らしのデジタルアーカイブー長江家住宅収蔵品データベースの構築ー」立命館地理学第 26 号 (2014) pp59-72

- ・ 高田光男, 高橋彰, 高木良枝, 松井大輔, 他” 京都の都心居住と京町家に関する研究 “公益財団法人アーバンハウジング, 2014. 4
- ・ 佐藤弘隆 「祇園祭山鉾町における町会所の形態の変化—高度経済成長期以降を事例に一」, 『京都民俗』, 京都民俗学会, 32 号, pp59 - 76, 2014
- ・ 矢野桂司 「バーチャル京都で歴史都市京都の景観を継承する」 彬子女王編『文化財の現在 過去・未来』 宮帯出版社, 2013 年 7 月, pp293-311
- ・ 矢野桂司, 瀬戸寿一 「地理情報システムを用いた地理学と歴史学の連携：歴史 GIS の試み」 (アリーナ, 第 15 号, 『デジタルアースの最前線：別冊』 風媒社, 2013 年 5 月, pp13-19)
- ・ 赤石直美, 瀬戸寿一 「「京都市明細図」 GIS データベースと占領期地図のデジタル化」, アリーナ 15 号別冊, 2013, pp20-25